



どう変わる？ 小・中学校の英語教育

現小5生は現中3生以上に大変になる！

2020年度から始まる大学入試改革。現中3生は、その初年度に大学入試を迎えるため準備や対策が大変だと話題になっています。しかし、それ以上に現小5生が大きな変化にさらされることはご存じでしょうか。

大学入試改革と学習指導要領改訂のスケジュール（別紙）を見ると、この世代は大学入試改革の本格実施が始まる2024年度に大学入試を迎えます。この時には、当初予定されていたものの2020年度では見送られた改革案が本格的に実施されると思われます。今のITの進化を見れば、CBT*1やIRT*2が導入される可能性も十分に考えられます。

さらに、彼らが中3になる2021年度には中学の次期学習指導要領が全面実施されます。次期学習指導要領は2020年度から小・中・高と順次実施されますが、小学校では英語が教科となるため、その延長で中学英語も難化。学ぶ語彙数が増え、文法も高度になるのです。

文部科学省は、現小5生が学習内容の増加分を、次期学習指導要領が全面実施される中3の1年間だけで学習することは無理だと考えました。そこで、小学英语は2020年度の本格実施に先駆け、2018年度から移行措置が取られることになったのです。

次期学習指導要領(英語)の特徴

次期学習指導要領では、英語の学習内容がどのように変わるのでしょうか。

小学英语の場合、小3・4は外国語活動として文部科学省作成のテキスト『Let's Try!』を使い週1コマ程度、小5・6は教科化し、中学校の英語の教科書と同様に、自治体ごとに選定した文部科学省検定済教科書を使用します。ただし、2018～2019年の移行措置期間中は移行措置用の新テキスト『We

Can!』(小5・6用)を使って、または『Hi, friends!』を併用して週2コマ程度学ぶことを想定しています。ただし、採択テキスト・授業コマ数ともに自治体に裁量があるため、地域によって学習内容が全く異なる事態が予想されます。

さらに、これまでは指定されていなかった単語数も、小学校で600～700語程度を学ぶこととなります。中学英語の場合、学ぶ単語は現行の1200語から1600～1800語程度に増えます。これまで中学卒業時までには学ぶ単語数は1200語程度でしたが、今後は2200～2500語程度、つまり現行の倍となるのです。

文法面では、現在は高校で学習している「原形不定詞」「現在完了進行形」「仮定法」が中学に下りてきます。かなり高度な文構造を扱うようになりますので、文法学習の負荷が大きくなることは間違いありません。

今後の動向に注意

こうした学習内容の難化に現小5生は直面します。小学校では1年、中学に上がってからも2年間は移行措置がとられ、中3で初めて新カリキュラム教科書に対峙することになるのです。まだ中学の教科書がどのようなものになるかは分かりませんが、大きく難化すると予想されます。

2018年度以降の英語については情報が完全に出揃っていない状況です。情報は随時更新されていきますので、今後の動きに注視が必要です。セミナーや弊社情報誌『ENジャーナル』でもお伝えしていきます。

(教材編集長 上野伸二)

今回は文部科学省制作の小5・6年用新テキスト『We Can!』の内容をお伝えします。

*1: CBT (Computer Based Testing) : コンピュータを利用する試験。受験者はマウスやキーボードなどで解答する。受験日・会場の設定がしやすい・採点が早いなどの利点がある。

*2: IRT (Item Response Theory) : 日本語では「項目応答(反応)理論」。テストを評価するための理論で、異なるテスト(日時・場所・問題の種類)を受けても結果を同一の基準で比較できる。このため、*1のCBTテストでは受験者ごとに出题を変えることも可能となる。

編集長の

ここですよ
ポイント

次期学習指導要領「英語」の改訂ポイント

- 「聞く・話す」を中心とした「外国語活動」は小3・4、「読む・書く」を加えた教科「外国語(英語)」は小5・6で履修。
- 学習する語彙数は、小3～6で600～700語程度、中学では現行の1200語程度から1600～1800語程度へ変更。
- 小5・6の教科化に伴い、中学に「原形不定詞」「現在完了進行形」「仮定法」が追加。

2020年度スタート 大学入試改革&次期学習指導要領

| 年度 | 2017 | 2018 | 2019 | 2020 | 2021 | 2022 | 2023 | 2024 |
|----------|--------------------------|------------------|------|--------------------------|------------------|------------------|---------|---------------|
| 新テスト | 基礎診断 共通テスト プレテスト施行 | 共通テスト プレテスト施行 | | 現センター廃止 共通テスト 先行実施 | | | | 共通テスト 本格実施 |
| 次期学習指導要領 | | 小学移行措置(英語等) | | 小学 次期学習指導要領 全面実施 | 中学 次期学習指導要領 全面実施 | 高1 次期学習指導要領 全面実施 | | |
| 学年 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 | | | 高2 全面実施 | 高3 全面実施 |
| | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 | | | |
| | 中1 | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 | | |
| | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 | |
| | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 | 高3 |
| | 小4 | 小5 | 小6 | 中1 | 中2 | 中3 | 高1 | 高2 |

- 「高校生のための学びの基礎診断」(基礎診断)
 - 3科目(国語総合・数学Ⅰ・コミュ英語Ⅰ)
 - 学力調査テスト高校版の位置づけ
- 「大学入学共通テスト」(共通テスト)
 - ペーパー式で記述式(国数)とマーク式
 - 現行センターと同じ1月実施

- 基礎診断
 - 次期指導要領対応(必修科目5科予定)
 - 推薦・AOへの活用の可能性あり
- 共通テスト
 - 本格導入(CBT-IRT)